



児童労働ネットワーク（CL-Net）

2014 年度 活動計画及び予算

2014 年度 役員及び運営体制

2014 年 11 月

# 2014 年度活動計画

(実施期間：2014 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日)

## <年間基本方針>

設立 11 周年目を迎える 2014 年度は、「ストップ！児童労働 キャンペーン 2015」を通じた意識啓発及び政策提言活動に継続して力を入れる。意識啓発面では、昨年引き続き「児童労働にレッドカードアクション」を行い、より幅広い層に児童労働が認知されることを狙う。インドの児童労働活動家・カイラシュ・サティヤルティ氏の 2014 年のノーベル平和賞受賞も機会として活かせるよう工夫する。政策提言面では、2015 年 9 月の国連総会で決定する「ポスト 2015 年開発目標」に児童労働の撤廃が含まれることを目指し、署名活動と日本政府への働きかけに力を入れる。

## 1. 意識啓発及び世論喚起

### 1-1 児童労働理解促進のためのキャンペーンの実施

「ストップ！児童労働 キャンペーン 2015」を主催し、児童労働問題の意識啓発を行う。

主な活動としてレッドカードアクションを昨年に引き続き実施、「児童労働にレッドカード」を掲げて写真を撮影し Facebook やツイッターに投稿するアクションへの参加を促し、児童労働の認知を広げる。2015 年は J リーグ・F リーグ・なでしこリーグをターゲットとし、チームのアクション実施を通じて活動を広めていく。また、賛同団体によるイベント開催を呼び掛け、特に地方開催を強化し、市民が児童労働を直接知ることができる機会を首都圏以外に増やすことを目指す。

(キャンペーン活動予定)

- (1) レッドカードアクション、(2) 署名活動 (詳細は 3-1 参照)、(3) 児童労働情報の発信、
- (4) 児童労働をなくすアクションの参加促進

### 1-2 学習会の開催

児童労働の認知及び理解を広げるため、一般の参加者を募る学習会を開催する。  
(予定) 2014 年 11 月 28 日 (金)「子どもの家事労働の今 (仮)」 連合会館、定員 30 名

## 2. 国内外の団体との協働

### 2-1 児童労働ネットワークの参加団体の拡大と活性化

個別の呼びかけや広報活動を通じて、会員団体及びキャンペーン賛同団体の拡大を目指す。活動への参加増大・活性化については、地域を問わずに参加できる SNS 活用のほか、1-1 のキャンペーン活動の中で、児童労働関連のイベント開催を呼び掛け、児童労働をなくすためにできるアクションや団体所有の児童労働啓発ツール情報を収集してウェブサイト等で発信することで、参加団体のより活発な活動参加を目指すとともに、

参加団体の児童労働関連活動により多くの市民が参加することを促す。

## 2-2 会員団体の能力強化

1-2 の学習会等を開催する他、メールや SNS を通じて児童労働に関する最新情報の提供、児童労働についての意見交換の場の設定等を通じて、会員団体の児童労働に関する知識や能力を強化する。

## 2-3 外部ネットワーク及び組織との連携強化

NGO-労働組合国際協働フォーラム等の関連ネットワーク及び組織との連携を通じて、キャンペーン活動（1-1）の広報や参加呼びかけ等を行う。

## 2-4 海外ネットワークとの連携・協調

児童労働に反対するグローバルマーチ及び Slavery international との連携を強化し、海外の政府の動向などの情報を入手し、上記提言について日本政府への働きかけを強める。

## 3. 政策提言活動

### 3-1 署名活動

2015 年 9 月の国連総会で決定する「ポスト 2015 年開発目標」に児童労働の撤廃が入るよう、日本政府が国際社会の場で後押しすることを目指し、過去最高となる 50 万筆を集める。

### 3-2 日本政府との対話

2014 年度に集めた署名を児童労働に関連のある省庁へ提出し、対話を通じ日本政府の行動を促す。既に署名を提出した外務省へもポスト 2015 年開発目標へ児童労働の撤廃が入るよう引き続き提言を行っていく。

さらに、外務省と NGO との対話等の場に CL-Net として参加し、他の組織やネットワークと協調しながら日本政府への働き掛けを強化する。

## 4. その他の活動

### 4-1 資金調達活動

会員団体及びキャンペーン賛同団体の増加、オリジナルグッズの開発及び販売等を通じて収入向上を目指す。助成金によるサポートを得て組織基盤を整え、自己財源の確保を含む資金調達能力を強化し、サステナブルな組織運営を目指していく。

以上

## 2014 年度予算計画

(活動期間：2014年10月1日～2015年9月30日)

承認：2014年11月28日

単位 (円)

### 【収入】

科目	2013年度 予算	2013年度 決算案	2014年度 予算案	2014年度予算に関する説明
<b>1. 会費収入</b>	<b>444,000</b>	<b>418,000</b>	<b>488,000</b>	
(1) 団体正会員	400,000	380,000	450,000	1万円×45口 (25団体) <既存の口数増と新規入会>
(2) 個人正会員	40,000	35,000	35,000	5千円×7口 (5名)
(3) 協力会員	4,000	3,000	3,000	1千円×3口 (3名)
<b>2. 寄付金収入</b>	<b>2,000</b>	<b>2,000</b>	<b>0</b>	
<b>3. 事業収入</b>	<b>410,000</b>	<b>474,193</b>	<b>530,000</b>	
(1) キャンペーン活動	360,000	393,693	450,000	キャンペーン収入案 (73万円) から助成金分28万円(a)を除いた金額 ※詳細別紙参照
(2) イベント、その他	5,000	5,500	10,000	学習会参加費 (1,000円×10名)
(3) 缶バッジ他	45,000	75,000	70,000	缶バッジ (300円) ×100個、新グッズ4万円の売上
<b>4. 助成金収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	うち28万円はキャンペーン予算の助成金(a)に相当
<b>5. その他収入</b>	<b>0</b>	<b>91</b>	<b>8,000</b>	
(1) 銀行利息	0	91	0	
(2) その他	0	0	8,000	NGO労組協働フォーラムより講師派遣案内送付の発送料 (半額)
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>856,000</b>	<b>894,284</b>	<b>1,526,000</b>	
<b>前年度からの繰入金</b>	<b>408,603</b>	<b>408,603</b>	<b>462,659</b>	
<b>収入合計 (B)</b>	<b>1,264,603</b>	<b>1,302,887</b>	<b>1,988,659</b>	

### 【支出】

科目	2013年度 予算	2013年度 決算案	2014年度 予算案	2014年度予算に関する説明
<b>1. 事業費</b>	<b>585,000</b>	<b>473,608</b>	<b>965,000</b>	
(1) キャンペーン活動	360,000	390,540	730,000	※詳細別紙参照 (活動に係る人件費40万円を含む)
(2) 参加団体の拡大と活性化	10,000	0	10,000	首都圏外の団体訪問又はセミナー共催の交通費、会員総会やセミナー参加の会員交通費補助
(3) 国内ネットワーク連携	5,000	5,000	5,000	世界一大きな授業キャンペーン賛同費
(4) 国際ネットワーク連携	100,000	78,068	20,000	児童労働に反対するグローバルマーチ会費
(5) 提言活動	100,000	0	150,000	署名活動に関する広報物制作費、活動に係る人件費 (10万円)
(6) 資金調達活動	10,000	0	50,000	新グッズの制作 (クリアファイル等)
(7) 広報活動	0	0	0	(1) キャンペーン の中で実施する
(8) イベント・その他	0	0	0	
<b>2. 管理費</b>	<b>389,380</b>	<b>366,620</b>	<b>551,448</b>	
(1) 通信費	20,000	3,402	19,000	署名報告送付80円×200か所+通常経費3,000円
(2) 消耗品費	5,000	1,077	3,000	
(3) 印刷費	30,000	28,210	35,000	印刷機・コピー機利用代
(4) 事務局運営費	240,000	240,000	250,000	
(5) 交通費(インターン、アルバイト)	90,000	90,000	240,000	インターン9万円 (1万円×9カ月) +アルバイトスタッフ15万円 (11月～9月は1万、キャンペーン期間2カ月は頻度UP+通勤以外の交通費UPで各2万)
(6) ウェブ維持費	3,380	3,448	3,448	ドメイン管理料、ドメインサービス料、サーバー代
(7) 手数料	1,000	483	1,000	振込手数料
<b>3. 予備費</b>	<b>10,620</b>	<b>0</b>	<b>9,552</b>	
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>985,000</b>	<b>840,228</b>	<b>1,526,000</b>	
<b>当期収支差額 (A)-(C)</b>	<b>-129,000</b>	<b>54,056</b>	<b>0</b>	
<b>収支合計 (B)-(C)</b>	<b>279,603</b>	<b>462,659</b>	<b>462,659</b>	
<b>次年度への繰越金</b>	<b>279,603</b>	<b>462,659</b>	<b>462,659</b>	

備考：

別紙記載の「ストップ！児童労働 キャンペーン2015」(収入3-1及び支出1-1)は、会計年度は2014年度で処理します。

## ストップ! 児童労働 キャンペーン2015予算案

※実施年度は2014年度です。

作成：2014年10月10日

[収入]

単位 (円)

大科目	キャンペーン 2014予算	キャンペーン 2014決算	キャンペーン 2015予算案	キャンペーン2015予算案に関する説明
<b>1) キャンペーン運営費</b>	<b>160,000</b>	<b>195,000</b>	<b>250,000</b>	
賛同団体	80,000	95,000	130,000	団体1口(5千円)×18、団体2口×4
賛同企業	30,000	50,000	70,000	企業1口(1万円)×7
賛同個人	0	0	0	
賛同その他	50,000	50,000	50,000	CL-Net会員、任意
寄附	0	0	0	
<b>2) NGO-労働組合国際協働フォーラムより</b>	<b>200,000</b>	<b>198,693</b>	<b>200,000</b>	
児童労働グループ活動費	200,000	198,693	200,000	広報費（印刷物・ウェブサイト）のうち、報告書・Facebook広告以外
<b>3) CL-Net予算より</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>280,000</b>	助成金
<b>収入合計 (A)</b>	<b>360,000</b>	<b>393,693</b>	<b>730,000</b>	

[支出]

項目	キャンペーン 2014予算	キャンペーン 2014決算	キャンペーン 2015予算案	キャンペーン2015予算案に関する説明
<b>1) 広報費（印刷物）</b>	<b>160,000</b>	<b>235,283</b>	<b>180,000</b>	
フライヤー	85,000	92,073	95,000	
ポスター		5,720	0	
コースター		50,900	0	
報告書	25,000	36,590	35,000	
デザイン料	50,000	50,000	50,000	ウェブツール・報告書込
<b>2) 広報費（ウェブサイト）</b>	<b>104,890</b>	<b>76,884</b>	<b>76,990</b>	
ウェブサイト作業費	50,000	50,000	50,000	CL-Netサイト内のキャンペーンページ構築及び更新費
ドメイン管理料	2,990	2,990	2,990	
フォーム使用費	1,900	2,000	2,000	キャンペーン参加手続き等で有料フォームを使用
フェイスブック広告	50,000	21,894	22,000	
<b>3) イベント開催費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
通訳謝礼	0	0	0	
通訳レシーバー	0	0	0	
<b>4) 管理費</b>	<b>57,000</b>	<b>78,373</b>	<b>67,000</b>	
送料	30,000	42,547	30,000	キャンペーンフライヤー発送等
消耗品	3,500	4,980	5,000	
印刷費	20,000	29,715	30,000	
手数料	3,500	1,131	2,000	
<b>5) その他</b>	<b>38,110</b>	<b>0</b>	<b>406,010</b>	
人件費	0	0	400,000	アルバイト代
交通費	30,000	0	0	
予備費	8,110	0	6,010	
<b>支出合計 (B)</b>	<b>360,000</b>	<b>390,540</b>	<b>730,000</b>	
<b>収支合計 (A-B)</b>	<b>0</b>	<b>3,153</b>	<b>0</b>	

## 2014 年度役員及び運営体制

児童労働ネットワーク規約 第 11 条に基づき、2014 年度会員総会（2014 年 11 月 28 日開催）において、正会員の中から下記の 9 名を運営委員として、2 名が監事として承認された。役員の任期は 2 年であるため、任期は 2015 年度までとなる。運営委員の代表及び副代表は、同条に基づき運営委員会において運営委員の互選により決定する。事務局は（特活）ACE が務め、事務局長は同第 37 条に基づき、代表の推薦に基づき運営委員会において運営委員の中から選出する。

<2014 年度運営委員> ※◎は 2013 年度代表、☆は同事務局長

■運営委員（9 名） ※2013 年度代表・事務局長を除き、アイウエオ順）

◎堀内 光子	文京学院大学大学院特別招聘教授
☆岩附 由香	（特活）ACE
天野 Faith 冬樹	（特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）
飯島 史絵	（特活）グッドネーバーズ・ジャパン
大久保 暁子	日本労働組合総連合会（連合）
北澤 肯	フェアトレード・リソースセンター
白木 朋子	（特活）ACE
中田 展宏	国際食品労連日本加盟労組連絡協議会（IUF-JCC）
若林 秀樹	（公社）アムネスティ・インターナショナル日本

<2014 年度監事>

寺中 誠	東京経済大学教員
森本 美紀	（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

## 【参考資料】正会員団体・個人（2014年9月末時点）

### ■団体正会員（21団体）

- （特活）アジア日本相互交流センター（ICAN）
- （公社）アムネスティ・インターナショナル日本
- （特活）ACE
- （特活）エファジャパン
- （特活）かものはしプロジェクト
- （特活）グッドネーバーズ・ジャパン  
グローバル・ヴィレッジ
- （特活）国際子ども権利センター  
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会（IUF-JCC）
- （公財）国際労働財団（JILAF）  
情報労連（情報産業労働組合連合会）
- （公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
Save Children Network
- （特活）ソルト・パヤタス
- （特活）テラ・ルネッサンス
- （特活）日本オーガニックコットン流通機構  
日本労働組合総連合会  
フード連合  
フェアトレード・リソースセンター
- （特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
UA ゼンセン

### ■個人正会員（敬称略）（4名）

- 寺中 誠
- 長谷川 真一
- 堀内 光子
- 與座 初美

以上